

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 8 年 2 月 10 日

独立行政法人水資源機構
揖斐川・長良川総合管理所長
荒川 敏之

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、木曾川水系連絡導水路事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 7・8 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、木曾川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、別紙-1 に示す作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載してご提出ください。参考見積書の様式は問いませんが、作成例（別紙-2）を参考としてください。
- (2) 提出期間：令和 8 年 2 月 12 日（木）から令和 8 年 2 月 20 日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所長 荒川 敏之 宛
【担当】揖斐川・長良川総合管理所 経理課 里西
〒511-1146 三重県桑名市長島町十日外面 136
TEL：0594-42-5012 FAX：0594-42-5020
メールアドレス nyukei_ibinagasou@water.go.jp
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX またはメール（社印があること）により提出するものとします。
（社印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の明記により省略可能）
- (5) 件名
導水路施設基本検討業務

4. 参考見積内容

- (1) 業務作業項目、作業内容
本参考見積は、別紙-1 に示す作業を実施するための標準的な歩掛等とします。
- (2) 業務費の構成と歩掛等見積徴取範囲
 - ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
 - ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費等のうち、上記(1)「業務

作業項目及び作業内容」を実施するために必要な技術者の人数等を徴取します。

なお、基準書で定義されている直接経費のうち、上記(1)を実施するために、電子計算機使用料の計上が必要な場合は、参考見積書に「電子計算機使用料＝直接人件費×○%」等を明記してください。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(4) 見積有効期限

令和8年3月31日まで

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和8年2月12日（木）から令和8年2月17日（火）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3) に同じ

(3) 提出方法：3. (4) に同じ

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和8年2月18日（水）から令和8年2月20日（金）まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

見積仕様書
件名：導水路施設基本検討業務

第1節 業務目的

1. 本業務は、機構が検討した「導水路設計施工技術検討業務」の成果（以下「H21 設計」という。）又は「木曽川水系連絡導水路基本設計」の部分成果（以下「R7 基本検討」という。）を基に、技術基準、法令等の改訂、新技術・技術的レベルの向上、社会的状況の変化、調査結果の蓄積等を踏まえ、費用、工期、周辺環境（地下水・騒音・景観等）への影響度等を整理し、根尾川放水工の基本設計レベルで検討等を行うものである。
2. 関連する既往検討成果は、次のとおりである。
 - (1) 木曽川水系連絡導水路予備検討業務報告書（平成 18 年度）
 - (2) 木曽川水系連絡導水路予備設計業務報告書（平成 19 年度）
 - (3) 木曽川水系連絡導水路設計検討業務報告書（平成 20 年度）
 - (4) 導水路設計施工技術検討業務報告書（平成 21 年度）
 - (5) 地質総合解析業務報告書（平成 21 年度）
 - (6) 地下水等調査業務報告書（令和 5 年度）
3. 本業務の関連業務は、次のとおりである。
 - (1) 木曽川水系連絡導水路基本設計（令和 6 年度～令和 7 年度）

第2節 業務内容**2-1 根尾川管理施設工基本設計****(1) 検討資料整理**

本設計で必要となる既往検討成果及び関連業務の検討成果を収集整理するものとする。

(2) 非定常水理計算

表 1 のとおり、R7 基本検討により H21 設計から沈砂池位置、全線圧力管に条件変更した場合における導水路施設計画を基に非定常水理計算を実施するものとする。

実施ケースは、上流（取水地点）あるいは下流（末端放流地点）での流量制御方式の 2 ケースを行い、それぞれの課題点（管内の内水圧、水撃圧に対する対策費等）を整理し、最適制御方式を設定するものとする。

表 1 非定常水理計算の条件変更表

区間	H21 設計（既往検討）	R7 基本検討
揖斐川～根尾川（約 11km）	開水路	管水路
根尾川～木曽川（約 32km）	管水路	管水路（変更なし）
沈砂池位置	根尾川管理施設工	揖斐川取水工
放水位置	長良川、木曽川	長良川、木曽川（変更なし）

(3) 基本条件の設定

本節(2)までで設定した制御方式における施設配置計画、構造の概略設定を行う。対象構造物は以下とする。なお、部材厚は構造計算を行わずに、経験値で設定する。

- ・ 排水樋門（根尾川堤防横断部）
- ・ 地上水路部（減勢工、流量調整弁等）
- ・ 立坑（トンネル発進立坑）
- ・ 立坑内部設備配置（立ち上げ配管、排水ポンプの検討等）

- ・ 蓋（維持管理を見据えた蓋の必要性検討等）

(4) 施工計画検討

本節(3)までで設定した排水樋門構築に係る施工計画を検討するものとする。仮締切の構造・施工方法等の検討にあたっては、「仮締切堤設置基準（案）」に基づき、仮締切の対象流量を算定し仮設規模・構造を決定する。

(5) 図面作成

本節(4)までで選定した施設・施工計画に係る平面図、構造一般図、施工ステップ図を作成するものとする。

(6) 概算工事費算出

作成した図面から概略数量を算出し、概算工事費を算定するものとする。

2-2 小水力発電の可能性検討

(1) 構想検討

H21設計の構造をベースに小水力発電の可能性の構想検討を行うものとする。構想検討では、類似事例などを用いて検討案を選定することを基本とする。

i) 検討条件

表2に示す検討条件を踏まえ、発電有効落差が最大となる発電計画を検討するものとする。

表2 小水力発電の検討条件

項目	条件
発電検討流量	3.3m ³ /s（常時）
取水位（管水路始点）	T.P. +53.00m
放流地点水位（河川）	T.P. +39.20m
木曾川放水工の構造	地上高の変更不可（それ以外の構造変更可）

ii) 実施案の抽出

実施案の抽出にあたり、小水力発電として発電効果が見込めそうな構造案を構想レベルで複数設定するものとする。

iii) 検討案の選定

前項の概略構造レベルで抽出した案に対して、発電量が最も確保でき、現実的な対応が可能と考えられる案を1案選定するものとする。

(2) 選定案の概略検討

本節(1)で選定した構造レベルの案に対して、概略構造及び発電設備を検討し、概算工事費算定のための概略一般図を作成するとともに、概算工事費、発電量及び売電収益を算定し、B/Cを算出するものとする。

i) 設備規模の検討

発電検討流量、設定した水頭差における最大限発電を行うための設備の検討を行うものとする。

ii) 放水工の構造検討

本節(2) i) で設定した発電設備を設置するための土木構造の検討を行うものとする。

iii) 概算数量及び概算工事費の算定

本節(2) ii) までで検討した内容を踏まえ、概算工事費の算定のための概算

別紙－ 1

数量を算出するものとし、その数量を基に概算工事費を算定するものとする。

iv) 発電量・売電収益の算定

設定した発電設備に対して、検討条件 ($Q=3.3\text{m}^3/\text{s}$ 、365 日) で発電した場合の発電量及び売電収益を算定する。売電単価は FIT 単価を用いて試算するものとする。

以 上

導水路施設基本検討業務 歩掛見積調査表（例）

細別・見積項目	単位	直接人件費							直接経費	備考
		主任技術者 (人)	理事・技師長 (人)	主任技師 (人)	技師（A） (人)	技師（B） (人)	技師（C） (人)	技術員 (人)	電子計算機使用料 直接人件費の （％）	
<記載例>										
○○○○設計	式		1.000	2.000	1.000	1.000	1.000		2.0	
<見積項目>										
根尾川管理施設工基本設計										
検討資料整理	式									
非定常水理計算	式									
基本条件の設定	式									
施工計画検討	式									
図面作成	式									
概算工事費算出	式									
小水力発電の可能性検討	式									

1. 本資料は、参考様式であり、見積書の様式は問いません。